

# 令和5年度 愛知県立岡崎北高等学校 学校経営方針

## スクール・ミッション

- 自らの目標に向かって主体的に学び、高い知性と未来を切り開くたくましさを身につけた生徒の育成を目指す学校
- 豊かな情操と品格・品性を備え、リーダーとして地域社会や国際社会の発展に寄与しようとする生徒の育成を目指す学校

## 教育目標

本校の地域社会における期待と責任を認識し、「高い知性と豊かな情操、たくましい気力・体力の養成」を図り、もって国家・社会の有為な形成者を育成する。

## スクール・ポリシー

	普通科	理数科
目指す生徒像	幅広い知識を身に付け、これからの社会において、 <b>新たな価値を創造</b> でき、持続可能な開発を推進する <b>リーダー</b>	理数分野の知識を身に付け、Society5.0において、 <b>新たな価値を創造</b> できる <b>国際科学人</b>
本校における学び	○ <b>幅広い分野の知識や教養を総合的に身に付ける学びの実現</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自らの考えの基盤となる<b>知識・技能</b>の習得</li> <li>・ 知的好奇心に満ち、<b>探究的に課題解決</b>を図る学びの実現</li> <li>・ 多様な価値観や意見を生徒が交わし合う、<b>対話的・協働的</b>な学びの実現</li> <li>・ たくましい心身と広い視野、豊かな情操と品格・品性を養い、<b>人間力</b>を高める学びの実現</li> <li>・ 常に<b>挑戦</b>し、主体的に学び続ける場の創出</li> </ul>	○ <b>理数分野における探究的、体験的、グローバルな学びの実現</b>
入学を期待する生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅広い分野の基礎知識や教養を身に付けた人</li> <li>・ 知的好奇心が旺盛で、知りたいことや分からないことを追究したい人</li> <li>・ 他者との関わりを大切にし、自分と異なる考えの人とも互いに考えを言い合い、目標に向かってともに協力できる人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理科や数学に興味関心があり、将来、グローバルな視点をもって理数分野に携わりたい人</li> </ul>

## 重点目標

### ◎ これからの社会において、新たな価値を創造できるリーダーの育成

知識をもとに、自分の頭で考え、協働的に深め、全体を把握しながら自律的に行動する「**自走する人間**」を育成する

<p><b>1 リーダーにふさわしい資質・能力の育成</b> ……「知・徳・体」の調和のとれた人間力の育成 授業、HR、学校行事、部活動など、全ての教育活動において、生徒に広い視野を養わせ、<u>社会や集団のリーダーにふさわしい自律的な行動を促し、礼節と社会規範の自覚、品格や品性を大切にする心や思いやりの心を育む。</u></p>	<p><b>2 学びの工夫</b> ……知識・技能の習得、探究的な学び、対話的・協働的な学び 全ての教育活動において、自らの考えの基盤となる知識・技能の習得に加え、体験的、課題探究的な学びを積極的に取り入れ、生徒が自分の頭で考え、それを仲間と対話的・協働的に考えを深められる指導方法を工夫する。特に、普通科における探究的な学びを推進し、現代社会で求められる力の育成を全教職員が主体的に行う。</p>	<p><b>3 常に挑戦し、主体的に学び続ける場の創出</b> ……学びに向かう力・自己肯定感を高める指導 全ての教育活動において、生徒が高い目標に向かって、意欲をもって取り組むよう指導するとともに、失敗を恐れず安心して挑戦できる場を創出する。</p>
<p><b>4 3年間を通したきめ細かな進路指導</b> 面談等により個々の生徒に自分の将来について考え、高い志を抱かせ、3年間通してその実現のために必要な力を身に付けさせるよう、入学時より進路指導部・学年を中心としたチームでキャリア教育や進路指導を行う。特に理数科の進路指導計画を検討する。</p>	<p><b>5 理数科プログラムの開発と実施</b> 理数科において、探究的、体験的、グローバルな学びを実現するための方法を模索し、挑戦するとともに、3年生のコスモサイエンスコースにおいても可能な限り理数科の方針で学びを推進する。特に、<u>海外研修を軸とした3年間の学びの流れをつくる。</u>また、得た成果等を普通科や普通コースにも広め、普専併置校の強みを創り出す。</p>	
<p><b>6 いじめの撲滅</b> 学校いじめ防止基本方針を全教職員が理解し、方針に則った取組を実施することで、未然防止と早期発見に心がける。特に、HR担任や部顧問は、生徒観察をするとともに生徒との信頼関係を構築し、情報収集に努め、関係職員で共有するなどチームでの取組を推進する。</p>	<p><b>7 効果的な働き方の工夫</b> 職員が常に元気な姿で生徒の前に立てるように、業務の在り方等を見直し、学校全体で質の高い教育活動を展開する。また、時間外の勤務を月45時間以下、年360時間以下とする方法を探る。</p>	